



(質問順)

鳥取県の次世代を担う県内高校生が、知事や教育長らに質問する高校生議会が7月29日（月）に開催されました。この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらうことを目的に実施し、今年で14回目となります。

県内9校から参加した20名の高校生は、指導役の県議会議員と意見交換を行いながら質問の原稿を作成し、質問に臨みました。

参加した高校生は、人口減少対策や子育て・人材確保支援、学校における自己啓発制度や生徒募集における環境の整備など日常生活を通して見えてきた課題をテーマに、自らの体験などを交えて質問や提言を行いました。

参加した高校生からは、「鳥取の課題を知ることができた」「政治が身近にあるものだ実感した」などの感想があり、議会や県政への関心や理解を深めていただく機会となりました。

高等学校名	生徒氏名	質問項目
米子北斗	大口 華 角田 実優 福本 璃桜	鳥取県の人材確保について
鳥取商業	三村 柚妃 中上 柚希 村尾 輝斗	鳥取県をより子育てしやすい県にするための提案
鳥取聾	竹村 颯太	災害時における聴覚障がい者の情報アクセシビリティの取組
境港総合技術	高梨 ゆい 海老沼純怜 椎葉 絢都	県内全ての高校にエレベーター設置を
鳥取西	永美 綾香 那須 美海	人口減少対策関連について
米子松蔭	川島 優里	学校での手話の学習の導入について
鳥取東	中口優太郎 山根琉太郎 見生美優羽	高校生の自己啓発 (Self-development) 休暇制度の導入について
日野	青木 環央 河野 遥香	県外生徒募集制度における生徒の生活環境の充実・支援について
倉吉東	坂本 ゆい 眞壁明日架	鳥取県中部地区を宿泊地として盛り上げるために

## 議場が新しくなりました

鳥取県議会議場は昭和37年の建築以来、60年の時を超え、新しく生まれ変わりました。マイクシステムやスピーカーの更新により論戦が聞き取りやすくなったほか、質問残時間の表示も議会の運営ルールに合ったかたちになりました。また、傍聴席から見える位置に大型スクリーンを設置し、質問の様子や資料を表示するなど、議論の内容が分かりやすくなるよう工夫しています。議場のカーペットはこれまでの赤色から青色に変更し、落ち着いた空間となりました。

県民のみなさまには新しい議場での論戦を体験いただきたく、多くの方の傍聴をお待ちしています。



撮影：斉藤和成 施工：藤原組